

本科研メンバー共同の

刊行著作・論文

1. 日本留学試験実戦問題集
聴読解
佐々木瑞枝監修、石塚京子、嶋田和子（国内研究協力者）、因京子、堀井恵子、村澤慶昭、ジャパントイムズ、140pp.、2004年10月
2. アカデミック・ジャパニーズ文献案内
日本語教育国際大会ワークショップ「アカデミック・ジャパニーズ」資料
門倉正美、堀井恵子、曹大峰（海外共同研究者）、鄭起永（海外共同研究者）、二通信子、嶋田和子（国内研究協力者）、大島弥生、10pp.、2004年8月
3. 日本留学試験実戦問題集
読解
佐々木瑞枝監修、門倉正美、二通信子、白寄まゆみ、石塚京子、吹原豊、ジャパントイムズ、137pp.、2004年6月
4. 2004年度日本語教育学会
春季大会パネルセッション
二通信子・コーディネータ
アカデミック・ライティング教育の課題、『2004年度日本語教育学会春季大会予稿集』、2004年5月
二通信子、はじめに、pp. 285-286、
山本富美子、学部留学生への指導、pp. 288-290
佐藤勢紀子、大学院留学生への専門分野に特化しない形での指導、pp. 291-293
因京子、特定の専門分野を持つ学習者への指導、pp. 293-295
5. 科研研究成果中間報告書
門倉正美 編著
『日本留学試験とアカデミック・ジャパニーズ』、科学研究費補助金基盤研究(A)
(1) 課題番号14208022研究成果中間報告書、324pp.、2003年10月
門倉正美、アカデミック・ジャパニーズとは何か、pp.123-132
佐々木瑞枝、アカデミック・ジャパニーズを考える、pp.133-138a
二通信子、専門科目でのレポート課題の実態とレポート作成上の問題点
——専門教員及び留学生へのインタビューから、pp.89-100
三宅和子、留学生・日本人大学生のアカデミック・ジャパニーズとは、
pp. 101-112
山本富美子、留学生に求められる日本語能力と大学学部教学体制の国際化、
pp. 73-87
村上京子、大学教育と日本留学試験(1) —学部留学生の大学生活における日本語運用上の困難、pp. 47-62
堀井恵子、留学生が大学入学時に必要な日本語力とは何か、pp. 113-122
因京子、学部留学生の学習活動の現状と意識—九州大学の場合、pp. 63-72
鈴木美加、学部入学前期の日本語科目の教育内容と試験で測っているもの、
—予備教育での試験と日本語能力試験、日本留学試験、pp. 31-45
嶋田和子（国内研究協力者）、課題達成能力の育成をめざした日本語教育振興協会における研究活動、pp. 17-30h
6. 2002年度日本語教育学会
秋季大会パネルセッション
佐々木瑞枝・コーディネータ
日本留学試験の「日本語」を考える、『2002年度日本語教育学会秋季大会予稿集』、2002年10月
佐々木瑞枝、問題提起 「日本語」試験のあり方について、pp. 245-246
門倉正美、「日本語」試験問題を読む、pp. 247-248
堀井恵子、日本留学試験の「日本語」をTOEFLと比較して、pp. 249-251
嶋田和子（国内研究協力者）、日本留学試験実施にともなう日本語学校の新たな取り組み、pp. 251-253
山本富美子、アカデミック・ジャパニーズのシラバス形成にむけて、pp. 254-256

2002年度～2004年度 本科研メンバー個々の刊行著作・論文／口頭発表

研究代表者 門倉正美（横浜国立大学留学生センター教授）

<著作・論文>

門倉正美、日本留学試験の問題点（2）——「公開用問題」の分析、横浜国立大学留学生センター紀要第9号、2002年、pp.93-107

門倉正美、日本留学試験を大学の視点から見る、『月刊日本語』2002年10月号

門倉正美、アカデミック・ジャパニーズとは何か、門倉正美編著『日本留学試験とアカデミック・ジャパニーズ』科学研究費補助金(A)(1)課題番号14208022中間報告書、pp.123-132、2003年10月

門倉正美、日韓共同理工系学部留学生事業協議会報告——「日韓プログラム」の特徴と「アカデミック・ジャパニーズ」の位置づけ、専門日本語教育研究第5号 pp.17-20、2003年12月

門倉正美、「就学生」、「日本留学試験」、「アカデミック・ジャパニーズ」——近年の日本における日本語教育の動向——、ヨーロッパ日本語教師会ニューズレター第21号、pp.1-2、2004年3月

門倉正美、メディア・リテラシーとリテラシー——メディア・リテラシーは日本語教育に何をもたらすか、『横浜国立大学留学生センター紀要』第10号、pp.37-52

佐々木瑞枝、門倉正美、二通信子、他3名、『日本留学試験実戦問題集 読解』、ジャパントタイムズ、138pp.、2004年5月

門倉正美、堀井恵子、曹大峰、鄭起永、二通信子、大島弥生、嶋田和子『アカデミック・ジャパニーズ文献案内』、日本語教育国際研究大会資料、10pp.、2004年8月

<口頭発表>

佐々木瑞枝、門倉正美、堀井恵子、嶋田和子、山本富美子、パネルセッション：日本留学試験の「日本語」を考える、2002年度日本語教育学会秋期大会予稿集、pp.245-256、2002年10月

堀井恵子、門倉正美、アカデミック・ジャパニーズとは何か——どのようにその力をつけていけるか、東アジア日本語教育国際シンポジウム論文集、pp.588-593、2002年11月

門倉正美、日本留学試験からアカデミック・ジャパニーズへ——助走と飛躍——、平成14年度日本語教育学会研究集会（於：仙台）、2002年12月

門倉正美、「日本語能力試験」から「日本留学試験」へ——試験問題改良と「アカデミック・ジャパニーズ」を考えるために、韓国日本学会連合会、2003年7月

門倉正美、堀井恵子、曹大峰、鄭起永、ワークショップ「アカデミック・ジャパニーズ」、日本語教育国際研究大会予稿集、pp.46-51、2004年8月

門倉正美、日本留学試験、アカデミック・ジャパニーズ、メディア・リテラシー、オーストラリア・モナシュ大学日本語教育セミナー、2004年11月

研究分担者 佐々木瑞枝（武蔵野大学大学院教授）

<著作・論文>

佐々木瑞枝、『生きた日本語を教える工夫』、小学館、239pp.、2003年

佐々木瑞枝監修・共著、『日本留学試験実戦問題集 記述』、ジャパントタイムズ、126pp.、2004年5月

佐々木瑞枝監修、『日本留学試験実戦問題集 読解』、ジャパントタイムズ、138pp.、2004年5月

佐々木瑞枝監修、『日本留学試験実戦問題集 聴読解』、ジャパントタイムズ、140pp.、2004年10月

<口頭発表>

佐々木瑞枝、門倉正美、堀井恵子、嶋田和子、山本富美子、パネルセッション：日本留学試験の「日本語」を考える、2002年度日本語教育学会秋期大会予稿集、pp. 245-256、2002年10月

佐々木瑞枝、日本語を通していかに文化を教えるか、「教材を料理する」「コミュニケーション能力を考える」、マドリッドアウトノマ大学（2004年）pp. 15-22, 94-105（日本語）、pp. 128-134, 206-213（スペイン語訳）

研究分担者 鈴木美加（東京外国語大学留学生日本語教育センター助教授）

<著作・論文>

鈴木美加、第二言語の読解における文字及び語彙の処理に関して——初級終了の段階における処理の様子と教材作成、『日本読書学会第46回研究大会発表資料集』、く、pp. 94-102、2002年

鈴木美加、初級後半の学習者は文章をどう読むのか—アイカメラによる記録の使い方、J. V. ネウストプニー他編集『言語研究の方法』、くろしお出版、pp. 200-208、2002年

鈴木美加、理科系学部留学生に対する日本語教育について、シンポジウム『留学一年目の教育のあり方—科学教育の視点から—』講演集、東京外国語大学留学生日本語教育センター、pp. 35-44、2003年

鈴木美加、学部入学前教育の日本語科目の教育内容と試験で測っているもの—予備教育での試験と日本語能力試験、日本留学試験、『日本留学試験とアカデミック・ジャパニーズ』、科学研究費補助金基盤研究(A)(1) 課題番号 14208022 研究成果中間報告書 pp. 31-45、2003年10月

鈴木美加、初級後半の学習者は文章をどう読むのか—アイカメラによる記録の使い方、J. V. ネウストプニー他編集『言語研究の方法』、くろしお出版、pp. 200-208、2002年

鈴木美加、理科系学部留学生に対する日本語教育について、シンポジウム『留学一年目の教育のあり方—科学教育の視点から—』講演集、東京外国語大学留学生日本語教育センター、pp. 35-44、2003年

鈴木美加、学部入学前教育の日本語科目の教育内容と試験で測っているもの—予備教育での試験と日本語能力試験、日本留学試験、『日本留学試験とアカデミック・ジャパニーズ』、科学研究費補助金基盤研究(A)(1) 課題番号 14208022 研究成果中間報告書 pp. 31-45、2003年10月

鈴木美加、理科系学部留学生に対する日本語教育について、シンポジウム「留学一年目の教育のあり方—科学教育の視点から—」講演集、pp. 35-44、2003年

鈴木美加、読解のための視覚言語要素の処理時間短縮化を目指した教材『文字・語彙フラッシュ&語彙リンク』の開発、『WWW技術を利用した日本語教育のための自己教育支援環境の研究』科学研究費補助金(C)(1) 課題番号 13680352、pp. 55-64、2003年
柏崎雅世、藤森弘子、藤村知子、鈴木美加、尾方理恵『日本事情テキストバンク—新たな授業構築に向けて—』CD-ROM形式、東京外国語大学留学生日本語教育センター、2003年

<口頭発表>

鈴木美加、第二言語の読解における文字及び語彙の処理に関して—初級終了の段階における処理の様子と教材作成—、『日本読書学会第46回研究大会発表資料集』 pp. 94-102、2002年

鈴木美加、理科系学部留学生に対する日本語教育について、東京外国語大学留学生日本語教育センターシンポジウム「留学一年目の教育のあり方—科学教育の視点から—」、2003年

鈴木美加、国費学部留学生に対する1年の集中予備教育プログラムについて—教育プログラム内外で学生の得るもの—、東京外国語大学留学生日本語教育センター移転記念

シンポジウム「アカデミック・ジャパニーズを考える」、2004年

研究分担者 因 京子（九州大学留学生センター助教授）

<著作・論文>

- 因 京子、『留学生のためのちょっと気の張る手紙の書き方』82pp、ビーエフエスアール、2002年
- 因 京子、「研究留学生を対象とする社会生活技能教育教材—専門日本語教育と並ぶもう一つの課題—」『韓日言語文化研究』第3巻、pp. 73-93、韓日言語文化研究会、2002年
- 因 京子・池田伸子、『研究留学生の日本語』各課解説（英文）、184pp.、ビーエフエスアール、2003年
- 因 京子・池田伸子、『研究留学生の日本語』発展情報・語彙、273 pp.、ビーエフエスアール、2003年
- 因 京子・池田伸子、『研究留学生の日本語 Basic Japanese for Professionals on Campus』新版 会話・ドリル・タスク 上（1-12課）165 pp.、下（13-24課）：166-327ページ、ビーエフエスアール、2003年
- 因 京子「学部留学生の学習活動の現状と意識—九州大学の場合—」『日本留学試験とアカデミック・ジャパニーズ』平成14年度—16年度科学研究費補助金基盤研究「日本留学試験が日本語教育に及ぼす影響に関する調査・研究」(A)(1) 課題番号4208822 研究成果中間報告書、pp. 63-72、2003年
- 村岡貴子・仁科喜久子・深尾百合子・因京子・大谷晋也、「理系分野における留学生学位論文使用言語」『専門日本語教育研究』第5号、専門日本語教育研究会、pp. 55-60、2003年
- 因 京子・山路奈保子・福岡康子、『研究留学生の日本語 試験問題集』九州大学留学生センター、47pp.、2004年
- 因 京子・ジラジランチャイ、アンカー・金宥景・山路奈保子、『研究留学生の日本語 応用練習問題集』、64pp.、九州大学留学生センター、2004年
- 因 京子・ジラジランチャイ、アンカー・金宥景・山路奈保子、『研究留学生の日本語 基礎練習問題集』、44pp.、九州大学留学生センター 2004年
- 因 京子・古屋忠彦・土井克実・金宥景、『生物学の広がり』、168pp.、九州大学留学生センター、2004年
- 因 京子、「日本留学試験聴読解問題の分析—アカデミック・ジャパニーズの輪郭を求めて—」『韓日言語文化研究』第4巻、pp. 23-53、韓日言語文化研究会、2004年

研究分担者 二通信子（東京大学留学生センター教授）

<著作・論文>

- 二通信子、佐藤不二子『改訂版 留学生のための論理的な文章の書き方』、スリーエーネットワーク 2003年
- Nobuko, Nitsu & Eiji Suenaga 「Academic writing skills: Japanese as a Second Language students in HGU」『北海学園大学人文論集』第25号 pp. 135-156 2003年
- 二通信子、専門科目でのレポート課題の実態とレポート作成上の問題点——専門教員及び留学生へのインタビューから、科学研究費補助金基盤研究『日本留学試験とアカデミック・ジャパニーズ』 科学研究成果中間報告書、pp. 89-100 2003年
- 二通信子、問題分担執筆、佐々木瑞枝監修『日本留学試験 実戦問題集 読解』、ジャパントائمズ 2004年
- 門倉正美、堀井恵子、曹大峰、鄭起永、二通信子、大島弥生、嶋田和子『アカデミック・ジャパニーズ文献案内』、日本語教育国際研究大会資料、10pp.、2004年8月

<口頭発表>

- 二通信子、文系専門科目のレポート作成に必要なスキルとは、日本語教育学会平成14年度第9回研究集会 2002年
- 二通信子、大島弥生、山本富美子、佐藤勢紀子、因京子、パネルセッション「アカデミック・ライティング教育の課題」 日本語教育学会度春季大会予稿集、pp. 285-296 2004年

研究分担者 堀井恵子（武蔵野大学文学部助教授）

<著作・論文>

堀井恵子、「日本留学試験」とその「日本語試験」：今後の活用へむけての課題と提案—シラバスと試行試験を分析して、『留学生教育』第7号、pp. 145-158、2002年11月

堀井恵子、「日本人大学生に対する「日本語(スキル)」教育の可能性、『武蔵野女子大学文学部紀要』、Vol. 4、pp. 1-9、2003年3月

堀井恵子、留学生が大学入学時に必要な日本語力は何か—「アカデミック・ジャパニーズ」と「日本留学試験」の「日本語試験」を整理する、『日本留学試験とアカデミック・ジャパニーズ』科研中間報告書、pp. 113-122、2003年8月

堀井恵子、日本人大学生に必要な「日本語力」とは何か。それはどのように育てることができるのか、『武蔵野女子大学文学部紀要』Vol. 5、pp. 19-25、2004年3月

佐々木瑞枝監修、石塚京子、嶋田和子、因京子、堀井恵子、村澤慶昭、『日本留学試験実戦問題集 聴読解』、ジャパントイムズ、2004年10月

堀井恵子、日本人大学生はどのように異文化コミュニケーション力を身につけることができるのか—日本語教育実習を通して、『武蔵野大学文学部紀要』Vol. 6、pp. 91-102、2005年3月

門倉正美、堀井恵子、曹大峰、鄭起永、二通信子、大島弥生、嶋田和子『アカデミック・ジャパニーズ文献案内』、日本語教育国際研究大会資料、10pp.、2004年8月

<口頭発表>

堀井恵子、日本留学試験の「日本語」をTOEFLと比較して—「アカデミック」言語力をどう問うか—パネルセッション「日本留学試験の「日本語」を考える」、日本語教育学会秋季大会予稿集、pp. 249-251、2002年10月

堀井恵子、門倉正美、アカデミック・ジャパニーズとは何か—どのようにその力をつけていけるか、東アジア日本語教育国際シンポジウム（於：中国）論文集、pp. 588-593、2002年11月

堀井恵子、坂井菜緒、学部留学生における学習カウンセリングの意義と課題：その2、日本語教育学会秋季大会予稿集、pp. 221-222、2003年10月

堀井恵子、「日本留学試験」の提起する「アカデミック・ジャパニーズ」を教育にどう生かすか、第6回国際日本研究・日本語教育シンポジウム（於：香港）「日本研究と日本語教育におけるグローバルネットワーク」予稿集、p. 13、2003年11月

堀井恵子、日本人学生はどのように異文化コミュニケーション力をつけることができるのか、第25回異文化間教育学会発表抄録、pp. 157-158、2004年5月

門倉正美、堀井恵子、曹大峰、鄭起永、ワークショップ「アカデミック・ジャパニーズ」、日本語教育国際研究大会予稿集本冊 pp. 48-51、2004年8月

研究分担者 三宅和子（東洋大学文学部助教授）

<著作・論文>

三宅和子、日本人大学生の論文・レポート作成における『日本語』教育、『第14回日本語教育連絡会議発表報告』 pp. 88-93 2002年4月

三宅和子、日本語の世界を探索する（1）—レポートを書く意味—、『東洋』第39号 第1号 東洋大学通信教育部 pp. 23-28 2002年4月

三宅和子、言語に現れる日本文化の志向性、『日本文学文化』第2号 東洋大学日本文学文化学科研究室 pp. 8-14 2002年6月

三宅和子、日本語教育における社会文化的知識の位置づけ、『日本學報』53輯 韓国

日本学會 pp. 65-74 三宅和子 単著 「日本語の世界を探索する(2)ーレポートを書く、文献を読む、引用するー」『東洋』第40号第2号 東洋大学通信教育部 pp. 23-28 2003年5月

三宅和子、『日本語学研究報告ー身近なことばからの発見：演習クラスの携帯メール分析の活動』全 pp. 298 2003年9月

三宅和子、留学生・日本人大学生のアカデミック・ジャパニーズとは、『日本留学試験が日本語教育に及ぼす影響に関する調査・研究ー国内外の大学入学前日本語予備教育の連携のもとに』(平成14-16年度科学研究助成金(基盤研究A)研究成果中間報告書 研究代表者：門倉正美)

三宅和子、日本語の世界を探索する(3)ー日本語の男女差を考えるー、『東洋』第41巻第1号 東洋大学通信教育部 pp. 11-15 2004年4月

三宅和子、『日本語学研究報告2ー携帯メールのコミュニケーション研究：演習クラスの活動と教育』全 pp. 272 2004年10月

<口頭発表>

三宅和子、堀口純子、三原祥子、筒井洋一、パネルセッション「大学での『日本語』教育の意味と可能性」日本語教育学会秋季大会予稿集 pp. 239-250 2004年10月

研究分担者 村上京子(名古屋大学留学生センター教授)

<著作・論文>

村上京子、日本語能力を評価する、『日本語教育のための心理学』、新曜社、pp. 197-205 2002年6月

村上京子、テスト改善に役立つ技法、『日本語教育のための心理学』、新曜社、pp. 207-219 2002年6月

村上京子、小室輝代、三谷閑子、日本留学試験『記述問題』における採点基準の見直し、『名古屋大学日本語・日本文化論集』11号 pp. 107-124 2003年3月

村上京子、学部留学生の大学生活における日本語運用上の困難と課題、『名古屋大学留学生センター紀要』pp. 5-17 2003年9月

三谷閑子、村上京子、小室輝代、作文の評価手順が評価に及ぼす影響についてーanalytic scoringに関してー、『言葉と文化』pp. 1-16 2004年3月

小室輝代、三谷閑子、村上京子、日本留学試験『記述問題』の評価基準の提案とその信頼性『言葉と文化』pp. 55-70 2004年3月

村上京子、「作文評価における文の種類の影響 一意見文と説明文の比較ー」『日本留学試験における記述問題の実施方法と分析観点に関する実証的研究 ー記述問題の問題形式・量及び評価基準の適正さについてー』2003・2004年度文部科学省科学研究費補助金萌芽研究 15652032(研究代表者：村上京子)研究成果報告書 2005年2月

村上京子、日本留学試験『記述問題』が測っているもの『日本留学試験における記述問題の実施方法と分析観点に関する実証的研究 ー記述問題の問題形式・量及び評価基準の適正さについてー』2003・2004年度文部科学省科学研究費補助金萌芽研究 15652032(研究代表者：村上京子)研究成果報告書 2005年2月

研究分担者 山本富美子(立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部教授)

<著作・論文>

山本富美子、留学生に求められる日本語能力と大学学部教学体制の国際化、『日本留学試験が日本語教育に及ぼす影響に関する調査・研究ー国内外の大学入学前日本語予備教育と大学日本語教育の連携のもとに』平成14~16年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(1)一般、研究代表者：門倉正美)研究成果中間報告書、2003.

山本富美子、日本語談話の聴解力と破裂音の知覚との関係—中国北方方言話者と上海語方言話者に対する比較調査より—、『音声研究』第8巻第3号;67-79, 日本音声学会, 2004.

山本富美子、『国境を越えて』[本文編]重版(8刷り)、新曜社、2004年

山本富美子、工藤嘉名子、『国境を越えて』[文型練習編]重版(4刷り)、新曜社、2004年

山本富美子、瓜生佳代、甲斐朋子、『国境を越えて』[タスク編]、立命館アジア太平洋大学学内出版、2004年

<口頭発表>

山本富美子「アカデミック・ジャパニーズのシラバス形成に向けて」、「日本留学試験の「日本語」を考える」平成14年度秋季日本語教育学会パネルセッション、2002年

山本富美子、アカデミック・ライティング教育の課題—学部留学生への指導—、平成16年度

春季日本語教育学会春季大会パネルセッション、2004年

山本富美子、アカデミック・ジャパニーズに求められる能力とは— 論理的・分析的・批判的思考法と語彙知識をめぐって —、東京外国語大学留学生日本語教育センター移転記念シンポジウム、2004年